

Title	活動報告
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学グローバルCOEプログラム論理と感性の先端的教育研究拠点
Publication year	2010
Jtitle	Newsletter Vol.12, (2010. 6) ,p.7- 7
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Research Paper
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO12002003-00000012-0072">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO12002003-00000012-0072</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

# MRI 特別安全講習

## MRI Safety Lecture

2010年4月25日 三田キャンパス第一校舎122教室

2010年4月25日、明治国際医療大学医学教育研究センター医療情報学ユニットの教授で日本磁気共鳴学会の理事も務められている梅田雅広教授を講師にお招きし、MRI 特別安全講習が開催された。本GCOE拠点でMRI実験を行う者は、全員、安全講習を受けることが義務づけられており、GCOEが主催したこの安全講習には、26名の学生や教員が参加した。講習は、MRIの原理と基礎、安全に利用するための注意点に加え、測定に使用されるシーケンスの仕組みなどの応用にまでおよび、MRI実験の未経験者のみならず、既にMRIの知識や経験を持つ参加者にとっても、学ぶところの多い内容であっ

た。2時間にわたる講義の後、活発な質疑応答もあり、非常に有意義な講習となった。今回のMRI特別安全講習をきっかけに、実験関係者全員が、より高い安全意識を持ってMRI実験に臨み、今後も、本拠点で安全にMRI実験が遂行されることを願う。  
(四本裕子)

MRI safety seminar was held on April 25th 2010, with a guest lecturer, Professor Masahiro Umeda. Twenty-six attendees learned MRI basics, safety guidelines, and their applications.

## 活動報告

タイトル	開催日・会場	主催・共催・企画	企画者	講演者・参加者
Kant's Transcendental Idealism in Focus Part II	3月3日・5日 三田キャンパス 東館4階セミナー室 三田キャンパス西校舎 525B教室	論理・情報班	Wolfgang Ertl	Dennis Schulting (University of Amsterdam)
Joseph McCleery 博士 講演会 The neural basis of social and non-social functioning in human development	3月6日 三田キャンパス東館4F セミナー室	言語と認知班	山本淳一	Joseph McCleery (University of Birmingham)
Development and Education of Logic and Sensibility	3月7・8日 三田キャンパス 北館ホール	全体 (遺伝と発達班)	山本淳一 安藤寿康	長谷川真理子(総合研究大学院大学)、John Sweller (University of New South Wales)、Alex Thornton (University of Cambridge)、Sidney Strauss (Tel Aviv University)、Joe McCleery (University of Birmingham)、友永雅己(京都大学霊長類研究所)、赤木和重(三重大学)、Gavin Hunt (The University of Auckland)、Hans-Joachim Bischof (Universität Bielefeld)、北澤茂(順天堂大学)、Franck Péron (Université Paris Ouest Nanterre La Défense)、高橋甲介(筑波大学)、玉田圭作(慶應義塾大学)、山本淳一、安藤寿康(遺伝と発達班)、渡辺茂(脳と進化班)、皆川泰代(遺伝と発達班)
Let's talk on infrahuman intelligence	3月9日 三田キャンパス 北館ホール	人間知性 研究センター 当拠点	渡辺茂	Hans-Joachim Bischof (Universität Bielefeld)、Y.Ikeda (Ryukyu University)、R.Masuda (Kyoto University)、Gavin Hunt (The University of Auckland)、Tazu Aoki (RIKEN Brain Science Institute)、Shigeru Watanabe、Yumiko.Yamazaki (脳と進化班)
慶應義塾大学人文GCOE・ 山階鳥類研究所合同ワーク ショップ How can we understand the wild logic?: Lessons from bird brain and behaviour	3月10日 財団法人山階鳥類研究所 セミナー室	財団法人 山階鳥類研究所 当拠点	渡辺茂 伊澤栄一	Hans-Joachim Bischof (ビーレフェルト大学)、Gavin Hunt (オークランド大学)、山崎 剛史 (山階鳥類研究所)
Atypical Dopamine Transport Inhibitors: Mechanisms Underlying Their Potential As Treatments For Cocaine Abuse	3月14日 三田キャンパス研究室棟 会議室A	脳と進化班	渡辺茂 辻井岳雄	J.L.Katz(DHHS/NIH/NIDA Intramural Research Program, USA)
他者認識・共生にのぞむ感性: 文化研究と臨床実践の交差点	3月22日・23日 三田キャンパス東館4F セミナー室	哲学・文化人類学班	宮坂敬造	石山一舟 (University of British Columbia)、堀口佐知子 (上智大学・文化人類学)、野村直樹 (名古屋市立大学)、照山絢子 (University of Michigan)、生田倫子 (日本ブリーフセラピー協会)、大沼麻実、皆吉淳平 (慶應義塾大学)、宮坂敬造、Mohacsi Gergely (哲学・文化人類学班)
A Proof Theory Workshop(with Lecture Series by Grigori Mints)	3月17・18日 三田キャンパス北館大会 議室	主催:ORC 共催:論理・情報班、 哲学・文化人類学班	飯田隆 秋吉亮太	Grigori Mints (Stanford University)、Gunnar Wilken (沖縄科学技術研究基盤整備機構)、龍田真 (National Institute of Informatics)、江口直日 (神戸大学大学院)、新井敏康 (千葉大学)、白旗優 (慶應義塾大学)、串田裕彦 (論理・情報班)、飯田隆、秋吉亮太 (哲学・文化人類学班)
フィクションの哲学	3月27日 三田キャンパス東館4階 セミナー室	哲学・文化人類学班	飯田隆	清塚邦彦 (山形大学)、森功次 (東京大学大学院)、鈴木生郎 (慶應義塾大学)、飯田隆 (哲学・文化人類学班)
MRI 特別安全講習会	4月25日 三田キャンパス第一校舎 122教室	研究成果発信・ 支援プログラム	梅田聡 梁谷芳明	梅田雅宏 (明治国際医療大学、日本磁気共鳴医学会理事)
Nick Zangwill 教授 講演会 "Logic, Inference and Quasi-realism"	4月27日 三田キャンパス東館4階 セミナー室	論理・情報班	納富信留	Nick Zangwill (Durham University)